

日本語学会第 135 回大会

プログラム

会長 上野 善道
 大会運営委員長 井上 優
 大会実行委員長 沢木 幹栄

期 日： 2007 年 11 月 24 日(土)・11 月 25 日(日)
 会 場： 信州大学人文学部 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 (交通案内等は 5～7 ページ)
 TEL：0263-35-4600 (代表), 0263-37-3237 (大会実行委員長)
 FAX：0263-37-2235 (共用につき宛名必須)

※ 車でのご参加はご遠慮ください。(学外の有料駐車場は利用できます。)

— 第 1 日 (11 月 24 日) —

10:00-12:30	委員会 (委員の方はご出席ください)	全学教育機構 南校舎 2 階 大会議室
13:00-18:00	口頭発表・ワークショップ (詳細は 2～4 ページ)	全学教育機構 南校舎 1～3 階
18:30-20:30	懇親会 (一般 5,000 円, 学生 3,000 円)	あづみホール (キャンパス内)

— 第 2 日 (11 月 25 日) —

9:30- 9:40	挨拶 上野 善道 (会長) 小宮山 淳 (信州大学学長)	
9:40-10:40	公開講演(1) 近藤 真理子 「音韻論と音声学を結んで —Laboratory Phonology の動向と展望—」	全学教育機構 第 1 講義棟 2 階 20 番講義室
10:45-11:45	公開講演(2) 渋谷 勝己 「方言文法研究の動向と展望」	
11:30-13:10	・ポスター発表 (詳細は 4 ページ) ・特別展示「フロンティアからの眼差し」(「危機言語」小委員会)	全学教育機構 南校舎 2 階
13:10-15:40	公開シンポジウム「否定と言語理論」 発題 1 加藤 泰彦 「否定と統語論」 発題 2 今仁 生美 「否定と意味論」 発題 3 吉村 あき子 「否定と語用論」 司 会 三藤 博	全学教育機構 第 1 講義棟 2 階 20 番講義室

※11 月 25 日(日)の公開講演, 公開シンポジウムはどなたでも参加できます。

口頭発表・ワークショップ（11月24日，13:00～18:00）（全学教育機構南校舎1～3階）

	A会場（1階12番講義室）	B会場（1階13番講義室）
13:00-13:30	吉成 祐子，パルデシ プラシヤント，鄭 聖汝 非意図的な出来事における他動詞使用と「責任」意識—日・韓語の対照を通じて—	徐 佩伶 中国語における目的語の「特定性」と語順制限
13:35-14:05	李 忠奎 日韓語の動詞複合形成モデルの構築—「食べる/meogda」を後項動詞とする例を中心に—	金子 真 日本語の直示的複数表示「タチ」
14:15-14:45	梁 敏鎬 韓国における外来語の使用実態と受容要因	朴 江訓 現代日本語における多重否定極性項目構文について
14:50-15:20	窪菌 晴夫 韓国語慶尚道方言の外来語アクセント再考	中村 ちどり 「誰も何も食べなかった」—限定詞の共起における否定の共有と否定重複—
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-18:00	ワークショップ1 「解放的」語用論の展開—母語話者視点からのチャレンジ— (詳細は4ページ)	ワークショップ2 否定呼応現象から探る日本語文構造の特質—理論研究と歴史研究から見えるもの— (詳細は4ページ)

	C会場（2階23番講義室）	D会場（2階24番講義室）
13:00-13:30	船越 健志 日本語の目的語コントロール構文と目的語転位	稲田 俊一郎 ゲルマン諸語の非制限節における関係節化詞のタイプと関係節の派生・構造
13:35-14:05	水口 学 日本語における「顕在的」長距離繰上げ	Dónall P. Ó BAOILL, Hideki MAKI Extraction from infinitival clauses in Ulster Irish
14:15-14:45	内芝 慎也 日本語軽動詞構文におけるカタ名詞化—Fukui and Sakai を支持する論証—	NAKAMURA Koichiro The internal structure of quantified phrases, focus reading, and scrambling in Japanese
14:50-15:20	秋庭 大悟 根源的モダリティと認知的モダリティの統語構造	牧 秀樹，坪内 一也，浜寄 通世 現代日本語の主格・属格交替のANOVA分析—介在効果とその含意—
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	依田 悠介 素性的一致とそのタイミング	松井 夏津紀 状態動詞と形容詞の意味構造の違い
16:15-16:45	石川 弓子 弱フェイズにおける素性の引継ぎについて	金澤 俊吾 英語におけるTough構文，中間構文にみられる動詞の意味的性質について
16:55-17:25	浅田 裕子 日本語の“認知的「と」節”構文について	松山 哲也 「into を伴う到達経路表現」について—構文文法的な視点から—
17:30-18:00	星 浩司 日本語に於ける動詞句削除の欠如とその帰結に関する覚書き	松本 曜 反義性に関する認知意味論的考察

	E会場 (2階 25 番講義室)	F会場 (3階 33 番講義室)
13:00-13:30	河内 一博 シダーマ (シダモ) 語の格のシステム	岩田 一成 指示詞から感動詞へ
13:35-14:05	ディルルクシ・ラトナーヤカ シンハラ語の動詞分類と動詞の形態的特徴の関係	大野 早苗 副詞としての「普通に」の用法について
14:15-14:45	野島 本泰 台湾ブヌン語の、「望ましくない状態」を表す 形容詞の派生に用いられる接頭辞 matu- -形態分析と意味記述-	李 澤熊 「たちまち、あっという間に、またたく間に」の 意味分析-ベースとプロファイルの観点から-
14:50-15:20	内海 敦子 バンティック語とタラウド語のヴォイスシステム の比較-使役動詞を中心に-	首藤 佐智子 前提条件操作におけるアコモデーションの限界 -「よろしかったでしょうか」の語用論分析-
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	佐藤 暢治 保安語積石山方言における指示詞の現場指示用法 について	古閑 恭子 アカン語の名詞の声調
16:15-16:45	山崎 雅人 満洲語文語の三人称代名詞	浅尾 仁彦 連濁の形式的アナロジーモデル
16:55-17:25	稲垣 和也 カドリ語における重複的構造	竹安 大 聴取条件が閉鎖音・摩擦音の知覚しやすさに 与える影響について
17:30-18:00	吉岡 乾 ブルシャスキー語の反響語	

	G会場 (3階 34 番講義室)
13:00-13:30	高田 祥司 岩手県遠野方言の推量・意志表現
13:35-14:05	下地 理則 琉球語のクリティック-伊良部島方言の記述から-
14:15-14:45	山部 順治 補助動詞「おく」の非意志的用法の3構文 -地理上の分布と文法体系内でのつながり-
14:50-15:20	パルデシ プラシヤント 放っておけない「V-テオク」構文 -東・南・中央アジア諸語における「PUT/KEEP」 の文法化の記述的研究-
15:20-15:40	(休憩)
15:40-16:10	森 貞 I think ~p. と I don't think p. の習得順序について
16:15-16:45	Priscilla ISHIDA The effects of transparency and context on L2 idiom interpretation
16:55-17:25	TAMAOKA Katsuo, MIYAOKA Yayoi, LIM Hyunjung, KIM Sujin, SAKAI Hiromu Differences in discourse comprehension strategies for L2 (second language) Japanese as employed by pair-matched L1(first language) Chinese and Korean speakers
17:30-18:00	

◆ワークショップの詳細

A会場 (1階 12番講義室)	<p>ワークショップ1 「解放的」語用論の展開－母語話者視点からのチャレンジ</p> <p style="text-align: right;">司会 堀江 薫</p>
	<p>共同作業における合意形成－日本語・英語・韓国語における「場」とことば－ 藤井 洋子, 金 明姫</p> <p>合意形成会話に基づくインタラクションスタイルの類型化について 片桐 恭弘</p> <p>アフリカ狩猟採集民グイの談話分析から見る〈性のトポグラフィー〉 菅原 和孝</p> <p>討論 指定討論者 井出 祥子</p>
B会場 (1階 13番講義室)	<p>ワークショップ2 否定呼応現象から探る日本語文構造の特質－理論研究と歴史研究から見えるもの－</p> <p style="text-align: right;">司会 江口 正</p>
	<p>現代日本語シカのふるまいと統語的条件 片岡 喜代子</p> <p>「～シカ～ナイ」構文の歴史－「係助詞」性に注目して－ 宮地 朝子</p> <p>歴史的観点から見た否定の作用域 衣畑 智秀</p>

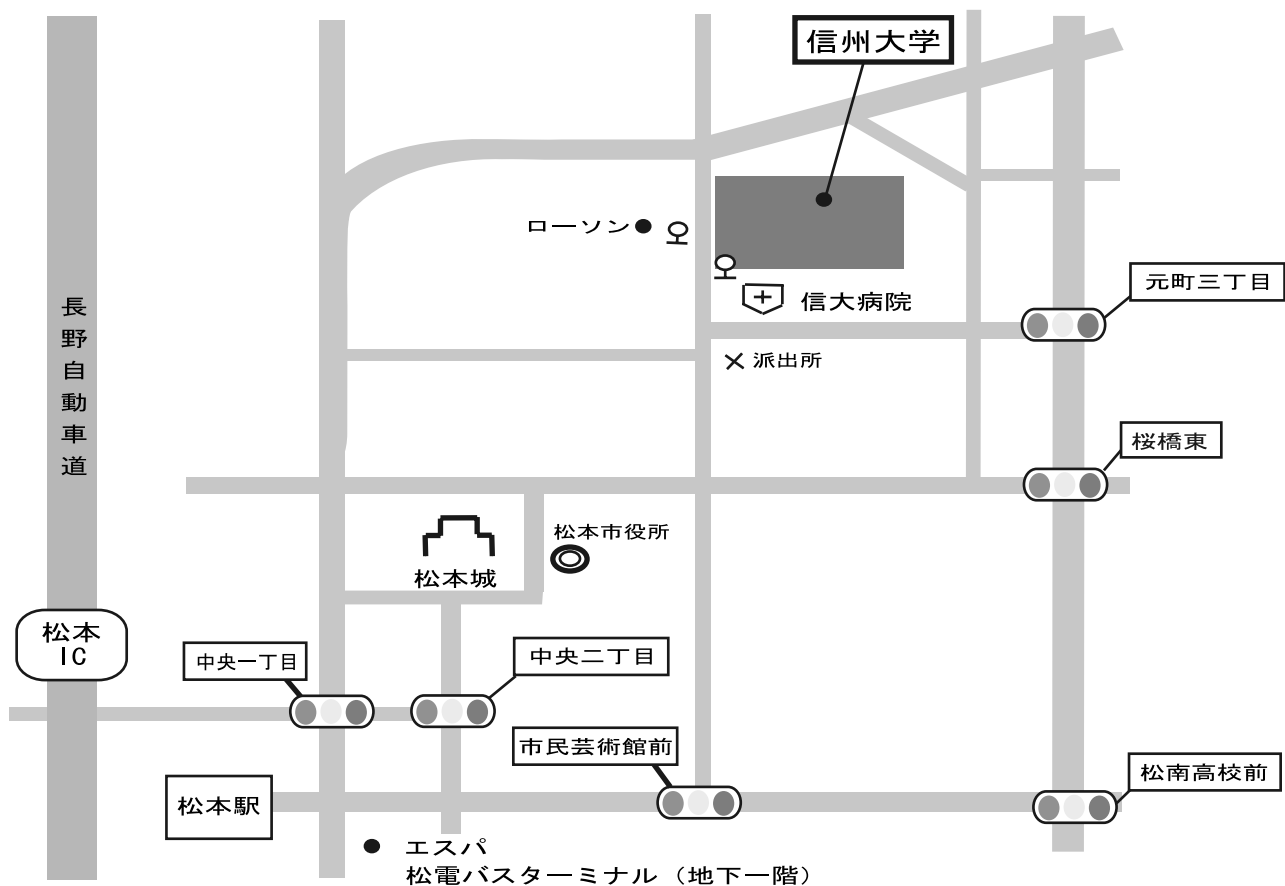
ポスター発表・特別展示 (11月25日 11:30～13:10) (全学教育機構南校舎2階)

◆ポスター発表

H会場 (2階 23・24番講義室)	<p>河内 一博 シダーマ (シダモ) 語の関係節の形成のパターン</p>
	<p>中川 奈津子, 浅尾 仁彦, 長屋 尚典 日本語における右方転移構文と分裂文の機能</p>
	<p>張 楚榮 限界性による「V+かける」構文の分析</p>
	<p>児玉 茂昭, 三上 喜貴, チュー ユー チョーン 自動言語判定手法の開発とそれを利用したインターネット上の言語分布に関する調査</p>
	<p>藤原 崇 「が・の・を交替」が可能な文の助詞の選好性の調査</p>

◆特別展示「フロンティアからの眼差し」(「危機言語」小委員会)

I会場 (2階 25番講義室)	<p>金子 亨 ニヅフ^{いま}の現在</p>
	<p>白井 聡子 ダバ語の方向接辞</p>
	<p>林 範彦 チノ語悠楽方言の動詞複合形式</p>
	<p>林 由華 琉球語宮古池間方言の動詞の時間・様相特性</p>



信州大学までの交通案内

○松本までの経路

1. 空路

- ・大阪（伊丹）、札幌、福岡からの定期便あり（運航しない曜日があるので注意）。
- ・松本空港から松本駅まではバスを利用（所要時間 25 分）
- ・九州北海道方面からは中部国際空港利用が便利な場合もあります。

2. 高速バス・特急バス（アクセス信州 <http://www.alpico.co.jp/access/express>）

- ・東京から 新宿西口バスターミナル発（所要時間 3 時間 10 分）
- ・大阪から 梅田発（所要時間 5 時間 10 分）
- ・名古屋から 名鉄バスセンター発（所要時間 3 時間 15 分）
- ・金沢から 金沢駅前発（所要時間 4 時間 50 分）

3. JR（特急）

- ・東京から 中央本線（新宿－松本）（所要時間 2 時間 40 分） *あずさ回数券が割引率大
- ・名古屋から 中央本線（名古屋－松本）（所要時間 2 時間）
- ・長野から 篠ノ井線経由（長野－松本）（所要時間 50 分）
- ・東北、新潟方面からは大宮または高崎乗換えで長野まで新幹線利用という手段もあります。

○信州大学まで

JR 中央線松本駅東口より

- ①松電バスターミナル（松本駅東口向かいエスパ地下 1 階）6 番乗り場アルピコバス”信州大学経由浅間温泉行き”乗車「大学西門」下車（乗車時間 20 分 190 円）
- ②タクシー約 2000 円（所要時間 20 分）

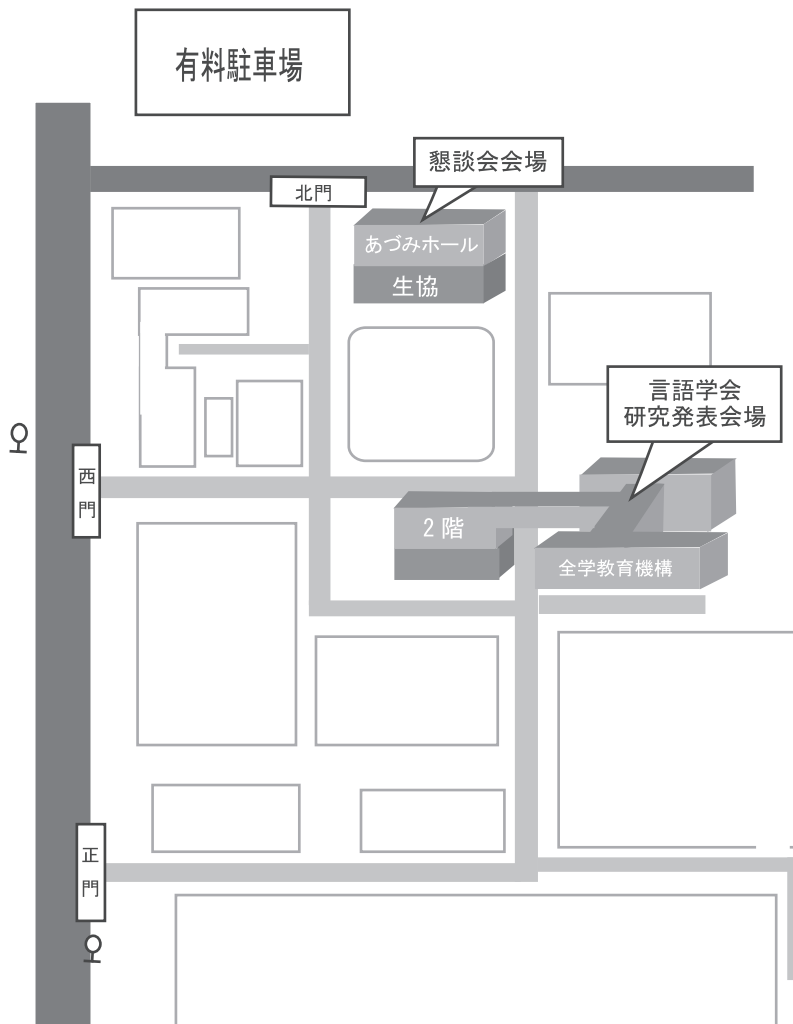
自動車利用について

大学内の駐車場は大学関係者専用ですので、自家用車の利用は特におすすめしません。ただし、大学北側に隣接した駐車場は 5 時間まで 200 円、1 日 400 円で利用できます。

宿泊

ホテルは駅前周辺に集中していますが、そのほかに浅間温泉にも宿泊施設があります。（浅間温泉から大学まではバスで 10 分）

● 会場案内（「会場配置図」は次ページにあります）



● バス時刻表（平成 19 年 4 月 1 日現在）

松本バスターミナル （浅間線・浅間温泉行き）		
	土曜	日曜
8	00 15 30 45	00 15 30 45
9	00 15 30 45	00 15 30 45
10	00 15 30 45	00 15 30 45
11	00 15 30 45	00 15 30 45
12	00 15 30 45	00 15 30 45
13	00 15 30 45	00 15 30 45
14	00 15 30 45	00 15 30 45
15	00 15 30 45	00 15 30 45
16	00 15 30 45	00 15 30 45
17	00 15 30 45	00 15 30 45
18	00 15 30 45	00 15 30 45
19	00 20 40	00 20 40
20	00 20 40	00 20 40
21	00 20 40	00 20 40

大学西門 （浅間線・松本バスターミナル行き）		
	土曜	日曜
8	05 20 35 50	05 20 35 50
9	05 20 35 50	05 20 35 50
10	05 20 35 50	05 20 35 50
11	05 20 35 50	05 20 35 50
12	05 20 35 50	05 20 35 50
13	05 20 35 50	05 20 35 50
14	05 20 35 50	05 20 35 50
15	05 20 35 50	05 20 35 50
16	05 20 35 50	05 20 35 50
17	05 20 35 50	05 20 35 50
18	05 20 35 50	05 20 35 50
19	05 18 38 58	05 18 38 58
20	18 38 58	18 38 58
21	18 43	18 43

お知らせ

◆大会予稿集の販売

- ・大会予稿集は、大会当日に受付にて販売いたします（1部2,000円）。事前購入はできません。
- ・大会予稿集の郵送（大会終了後になります）をご希望の方は、「部数、送付先」を明記の上、学会事務局までお申し込みください（送料込みで1部2,500円）。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

◆同封はがきによる申し込み

次のことがらを希望される方は、同封のはがきで11月1日(木)までにお知らせください。

- ・第1日の懇親会への参加（一般5,000円、学生3,000円）（人数把握のため事前申し込みにご協力ください。）
- ・第2日のお弁当の注文（800円）（会場周辺に食堂等はあまりありません。弁当販売は13時で終了します。）
- ・車椅子の利用（事前の申し込みがあった場合、若干数を用意いたします。）

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、11月1日(木)までに学会事務局までお申し込みください。

◆書籍展示コーナー

書籍展示のコーナーは、両日とも全学教育機構北校舎1階の学生控室です。

◆資料展示コーナー

大会当日は、両日とも書籍展示の教室付近に資料展示用の机を用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができます。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務局までお申し込みください。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金ください。

- ・大会予稿集（112回、116回、117回、132回大会の予稿集は品切れ）
111回大会（1995年秋）～131回大会（2005年秋）（送料500円のみ）
133回大会（2006年秋）～134回大会（2007年春）（1部1,000円+送料500円）
- ・『言語研究』の在庫情報は学会ホームページをご覧ください。
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ljsj2/gk/j-backnumber.shtml>

次回大会予告（2008年春季大会：第136回大会）

場所： 学習院大学（東京都豊島区）

日程： 6月21日(土) 口頭発表・ワークショップ

6月22日(日) 公開講演、ポスター発表、公開シンポジウム

大会までのスケジュール：

- ・発表応募締め切り 2008年3月20日(木)（必着）（『言語研究』、学会ホームページ掲載の規定に従い、学会事務局までご応募ください。）
※従来よりも締め切り日が早くなっておりますので、ご注意ください。
- ・採否通知 4月上旬
- ・大会発表要旨（学会ホームページ、『言語研究』掲載）締め切り 5月1日(木)（予定）
- ・予稿集原稿締め切り 5月12日(月)（予定）

お問い合わせ・お申し込み先

日本言語学会事務局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075)415-3661, Fax. (075)415-3662, E-mail: ljsj@nacos.com